



## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月15日

上場会社名 オープングループ株式会社 上場取引所 東  
(旧社名 RPAホールディングス株式会社)  
コード番号 6572 URL <https://open-group.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 知道  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 哲史 TEL 03 (5157) 6388  
半期報告書提出予定日 2024年10月15日 配当支払開始予定日 ー  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	3,466	19.0	279	46.8	△0	ー	251	△17.5
2024年2月期中間期	2,913	0.5	190	341.3	49	ー	304	ー

(注) 包括利益 2025年2月期中間期 248百万円 (△16.1%) 2024年2月期中間期 296百万円 (ー%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	4.13	4.06
2024年2月期中間期	5.02	4.89

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	19,317	11,985	62.0
2024年2月期	19,243	11,667	60.6

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 11,985百万円 2024年2月期 11,662百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2025年2月期	ー	0.00			
2025年2月期（予想）			ー	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	16.8	650	25.0	260	△1.2	360	116.8	5.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (社名) オートロ株式会社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
(注)詳細は、添付資料P. 8 「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期中間期	62,254,000株	2024年2月期	62,235,000株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	1,331,804株	2024年2月期	1,414,788株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年2月期中間期	60,844,587株	2024年2月期中間期	60,610,172株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結会計期間 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結会計期間 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、個人消費やインバウンド需要の回復、設備投資が拡大するなど、経済活動の正常化に向けた動きが見られるものの、世界的な金融引締めや円安が続く中で中国経済を含む海外景気の下振れリスクや金融資本市場の変動等により、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

こうした環境の中で、当社グループは「BizRobo!」、「RoboRobo」、「Presco(プレスコ)」とともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。また、引き続き「RoboRobo」の製品開発を中心とした先行投資を行いました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は3,466百万円(前年同期比19.0%増)、営業利益は279百万円(前年同期比46.8%増)、経常損失は0百万円(前年同期は49百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する中間純利益は251百万円(前年同期比17.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、従来「ロボットアウトソーシング事業」としていた報告セグメントの名称を「インテリジェントオートメーション事業」に変更しております。また、「ロボットトランスフォーメーション事業」としていた報告セグメントの名称を「アドオートメーション事業」に変更しております。この変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

#### インテリジェントオートメーション事業

インテリジェントオートメーション事業においては、「BizRobo!」、「RoboRobo」とともに導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長しました。引き続き「RoboRobo」の製品開発を中心とした先行投資は継続するも、ライセンス収入の伸長により利益率は改善しました。

その結果、インテリジェントオートメーション事業では、売上高は2,271百万円(前年同期比15.5%増)、セグメント利益(営業利益)は225百万円(前年同期比148.7%増)となりました。

#### アドオートメーション事業

アドオートメーション事業においては、人材カテゴリ、及び新規参入分野の取扱高が伸長しました。また、取扱シェアを高めたプログラムでは手数料率が一部改善したことと、コストコントロールの強化により利益率も改善しました。

その結果、アドオートメーション事業では、売上高は787百万円(前年同期比2.4%減)、セグメント利益(営業利益)は280百万円(前年同期比14.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は13,423百万円となり、前連結会計年度末に比べ949百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が942百万円減少したことによるものであります。固定資産は5,894百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,023百万円増加いたしました。これは主にのれんが641百万円増加、及び、投資その他の資産のその他が579百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は19,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は5,837百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは主にその他の流動負債が431百万円増加した一方で、未払法人税等が190百万円、買掛金が141百万円、及び、1年内償還予定の社債が100百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,494百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円減少いたしました。これは社債が147百万円、長期借入金が91百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,331百万円となり、前連結会計年度末に比べ243百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は11,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ318百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益を251百万円計上したこと、及び、資本剰余金が40百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.0%（前連結会計年度末は60.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月12日に公表いたしました業績予想及び配当予想を修正しております。

詳細については、本日（2024年10月15日）公表いたしました「連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,516,731	10,573,895
売掛金	2,420,159	2,283,224
仕掛品	15,826	15,889
その他	420,107	550,250
流動資産合計	14,372,824	13,423,260
固定資産		
有形固定資産	86,108	79,023
無形固定資産		
のれん	266,739	908,334
ソフトウェア	641,415	524,332
ソフトウェア仮勘定	52,041	136,951
その他	72	72
無形固定資産合計	960,268	1,569,691
投資その他の資産		
投資有価証券	3,228,547	3,070,152
その他	595,794	1,175,700
投資その他の資産合計	3,824,341	4,245,852
固定資産合計	4,870,718	5,894,567
資産合計	19,243,542	19,317,827
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,796,076	1,654,217
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内償還予定の社債	394,000	294,000
1年内返済予定の長期借入金	358,344	360,177
未払法人税等	248,353	57,766
賞与引当金	107,819	118,058
信託型ストックオプション関連損失引当金	17,424	17,424
その他	1,404,377	1,836,212
流動負債合計	5,826,394	5,837,856
固定負債		
社債	1,084,000	937,000
長期借入金	630,503	539,216
信託型ストックオプション関連損失引当金	34,848	17,824
固定負債合計	1,749,351	1,494,040
負債合計	7,575,745	7,331,896
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,914,618	5,917,310
資本剰余金	6,022,725	6,063,107
利益剰余金	211,894	463,017
自己株式	△494,897	△465,936
株主資本合計	11,654,340	11,977,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,345	8,109
その他の包括利益累計額合計	8,345	8,109
新株予約権	5,110	4,460
非支配株主持分	—	△4,138
純資産合計	11,667,796	11,985,931
負債純資産合計	19,243,542	19,317,827

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	2,913,214	3,466,058
売上原価	1,026,514	1,264,940
売上総利益	1,886,700	2,201,117
販売費及び一般管理費	1,696,398	1,921,798
営業利益	190,301	279,318
営業外収益		
受取利息	47	4,936
受取保険金	—	11,521
為替差益	949	—
受取手数料	—	3,989
その他	1,806	4,244
営業外収益合計	2,803	24,693
営業外費用		
支払利息	8,408	11,371
支払手数料	3,412	11,405
為替差損	—	3,382
投資事業組合運用損	38,976	35,208
持分法による投資損失	90,248	239,675
その他	2,645	3,872
営業外費用合計	143,692	304,915
経常利益又は経常損失(△)	49,411	△903
特別利益		
事業譲渡益	76,000	—
投資有価証券売却益	200,252	—
関係会社株式売却益	34,000	—
特別利益合計	310,252	—
特別損失		
投資有価証券評価損	9,980	13,999
特別損失合計	9,980	13,999
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	349,684	△14,903
法人税等	41,379	△263,493
中間純利益	308,305	248,589
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失(△)	3,964	△2,533
親会社株主に帰属する中間純利益	304,340	251,122

(中間連結包括利益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	308,305	248,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,299	△236
その他の包括利益合計	△12,299	△236
中間包括利益	296,006	248,353
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	292,041	250,886
非支配株主に係る中間包括利益	3,964	△2,533



(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	349,684	△14,903
減価償却費	137,324	168,731
のれん償却額	95,841	18,647
事業譲渡損益(△は益)	△76,000	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△34,000	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△200,252	—
投資有価証券評価損益(△は益)	9,980	13,999
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,725	10,238
受取利息	△47	△4,936
支払利息	8,408	11,371
為替差損益(△は益)	△949	3,382
持分法による投資損益(△は益)	90,248	239,675
投資事業組合運用損益(△は益)	38,976	35,208
売上債権の増減額(△は増加)	539,493	131,651
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,689	△63
仕入債務の増減額(△は減少)	△404,225	△158,307
未払金の増減額(△は減少)	△48,260	96,402
その他	234,994	△95,843
小計	753,632	455,255
利息の受取額	47	4,936
利息の支払額	△6,589	△8,196
法人税等の支払額	△211,055	△286,072
法人税等の還付額	101,181	58,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	637,216	224,366
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	—	△1,317
無形固定資産の取得による支出	△211,668	△125,987
投資有価証券の取得による支出	△298,400	△143,466
投資有価証券の売却による収入	216,468	—
関係会社株式の売却による収入	34,000	—
事業譲渡による収入	76,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△482,653
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	17,574
投資事業組合からの分配による収入	7,000	12,637
敷金の差入による支出	△3,164	△70,484
敷金の回収による収入	13,404	702
投資活動によるキャッシュ・フロー	△166,359	△792,996
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△143,598	△177,339
社債の償還による支出	△212,000	△247,000
株式の発行による収入	12,600	5,320
非支配株主からの払込みによる収入	—	44,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△342,998	△374,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,108	513
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	128,967	△942,835
現金及び現金同等物の期首残高	11,213,927	11,516,731
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,342,895	10,573,895

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の処分)

当社は、2024年5月28日開催の取締役会において譲渡制限付株式報酬、業績連動型株式報酬、及び株式報酬としての自己株式の処分を決議し、当中間連結会計期間に自己株式の処分を実施いたしました。この処分により自己株式が28,961千円減少し、資本剰余金が8,215千円減少しております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリジェン トオートメーシ ョン事業	アドオートメー ション事業	計			
売上高						
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	343,003	807,154	1,150,157	139,196	—	1,289,353
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	1,623,860	—	1,623,860	—	—	1,623,860
顧客との契約か ら生じる収益	1,966,863	807,154	2,774,017	139,196	—	2,913,214
外部顧客への売 上高	1,966,863	807,154	2,774,017	139,196	—	2,913,214
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	9,150	24,956	34,106	1,800	△35,906	—
計	1,976,013	832,111	2,808,124	140,996	△35,906	2,913,214
セグメント利益又 は損失(△)	90,498	244,658	335,156	3,532	△148,387	190,301

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△148,387千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない中間連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリジェント オートメーシ ョン事業	アドオートメー ション事業	計			
売上高						
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	395,173	787,940	1,183,114	406,808	—	1,589,922
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	1,876,136	—	1,876,136	—	—	1,876,136
顧客との契約か ら生じる収益	2,271,309	787,940	3,059,250	406,808	—	3,466,058
外部顧客への売 上高	2,271,309	787,940	3,059,250	406,808	—	3,466,058
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,029	10,638	15,668	3,781	△19,449	—
計	2,276,338	798,579	3,074,918	410,589	△19,449	3,466,058
セグメント利益又 は損失(△)	225,076	280,173	505,250	△19,096	△206,834	279,318

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△206,834千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない中間連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当中間連結会計期間より、従来「ロボットアウトソーシング事業」としていた報告セグメントの名称を「インテリジェントオートメーション事業」に変更しております。また、「ロボットトランスフォーメーション事業」としていた報告セグメントの名称を「アドオートメーション事業」に変更しております。この変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、オートロ株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「インテリジェントオートメーション事業」セグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、660,242千円であります。